

りすぐみだより

2歳児 りす組 No.1 1

令和5年2月28日
 田島わくわく保育園
 担任 倉橋 小林
 高橋 長谷

今年度も残りわずかとなりました。この一年を振り返り、一人一人が自分のペースで大きく、たくましく成長した姿に嬉しさを感じているこの頃です。

りす組では、進級に向けての活動が始まりました。朝の支度をした後、スモックの着脱をしています。昼食時には、自分の弁当箱と箸を使って食べています。最初は、ボタンをつけたりはずしたりすることや、弁当箱のゴムバンドをつけることが難しく、「できない」「やってー」と言っていました。保育者が繰り返しやり方を伝えたり、一緒につけてみたりすると、「ここどうすればいいの?」「こうやるの?」等と保育者に聞きながら自分でしようとする姿が多く見られるようになってきました。自分でできると「ボタンできたよ!」「お弁当のゴム、つけられたよ!」と言いながら子ども同士で見せ合ったり肩を組んだりして喜んでいました。

そして、スモックを着たままうさぎ組の部屋にも遊びに行きました! 椅子に座り、保育者が「うさぎ組さんみたいでかっこいいね!」と言うと、嬉しそうでした。また、りす組の部屋にはないおもちゃや本に大興奮の子ども達! 片付けの時間になると、「もっと遊びたかった~」と言いつつも、すぐに片付けをしていました。みんなから“うさぎ組のお兄さん、お姉さんになるんだ!”という嬉しい気持ちが伝わってきます!



待ちに待った雪遊び!



今年はなかなか雪が降らず、2月になってようやく雪が積もり、『田島グレンデ』ができたので雪遊びをしました。ずっと楽しみにしていた雪遊びができることを伝えると、「やったー!!」と嬉しそうに飛び跳ねていました。保育者がスキーウェアの着脱のやり方を知らせると、自分で着ようとする姿も増えてきました。

田島グレンデでは、除雪後の雪山に登ったり、フワフワの雪に寝転んだり、ソリ滑りをしたり、土手の斜面を座って滑ったり、雪だるまを作ったり、雪の上にある動物の足跡をたどってみたり…。その日の昼寝はみんなぐっすり眠るほど、たくさん身体を動かして遊びました!

また、水溜まりに氷が張っているのを見つけると、「スケートみたい!」「ツルツルする!」と言いながら、保育者と手を繋いで氷の上ののって滑ったり、氷を割ってみたり、分厚い氷を持ってこぐま組や支援センターに遊びに来ていた方に見せたりしていました。雪遊びの回数は例年より少なかったですが、田島グレンデを満喫したりりす組でした!

雪遊び道具のご用意をしていただき、ありがとうございました。



2月14日は“バレンタインデー”

「バレンタインデーって何の日か知ってる?」と聞くと、「知らない!」という声が多かったです。「自分の好きな人においしいチョコレートをおあげ気持ち伝える日なんだよ」と話すと、「チョコ好き~!」と言っていたので、ハート型のチョコレートを製作しました。ミルクチョコレートの茶色かイチゴ味のチョコレートのピンクを選んで、白い画用紙に刷毛で色を塗りました。色ムラが本物のチョコレートにそっくりでした! トッピングは、皆が大好きなハサミを使って、一回切りした色画用紙と丸シールを貼りました。皆「おいしそう~!」「食べちゃお!」と言いながら食べる真似をしていて、とても可愛かったです!

